2015年度決算及び 2016年度業績見通し・中期経営計画 説明資料



星光PMC株式会社(東証1部 4963) 2016年2月24日



目次

↓ I. 事業内容
↓ II. 2015年度 連結決算
↓ III. 2016年度 連結業績見通し
↓ IV. 事業別動向
↓ V. 中期経営計画「CS VISION-I」の振り返り
↓ VI. 中期経営計画「CS VISION-II」

<予想に関する注意事項>

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではございません。 業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、 実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。 当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。 ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではございません。

I. 事業内容



> 製紙用薬品事業

サイズ剤 紙力増強剤 印刷適性向上剤 製紙用補助薬品



<主な用途>

紙 新聞用紙

印刷·情報用紙

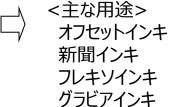
家庭紙 他

板紙 段ボール原紙

紙器用紙 他



各種印刷インキ用樹脂 記録材料用樹脂



トナー 他



➤ 化成品事業(KJケミカルズ株式会社)

各種機能性モノマー



<主な用途>

木工用UVコート剤、水系塗料、

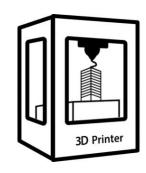
製紙用薬品、粘・接着剤、

石油掘削用ポリマー、

UVインキ、化粧品、電子材料 他







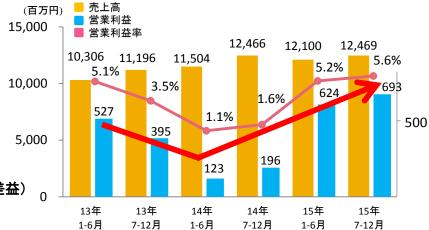
Ⅱ. 2015年度連結決算 概要



(1)決算の概況

(百万円)	前年度	当期		前年	度比
	実績	直近 予想	実績	増減	増減率
売上高	23,970	24,630	24,569	+599	+2.5%
営業利益	319	1,200	1,318	+999	+312.1%
営業利益率	1.3%	4.9%	5.4%	1	ı
経常利益	521	1,280	1,335	+814	+156.2%
経常利益率	2.2%	5.2%	5.4%	1	-
当期純利益	-18	980	1,072	+1,090	ı
> b /mm /246 1 = -++1					
減価償却費	1,209	1,093	1,060	-149	-12.3%
設備投資	1,079	1,036	838	-241	-22.3%
研究開発費 (対売上高比率)	1,656 (6.9%)	1,636 (6.6%)	1,639 (6.7%)	-17	-1.0%

- ・ 売上高は、2.5%の増収 製紙用薬品は堅調。国内樹脂は減収であったが、 KJケミカルズ(KJC)の化成品の増収も寄与
- ・ 営業利益は、約10億円の大幅増益 中国子会社及び化成品事業の業績改善が主因 単体でも、コスト削減により増益を確保



*1:営業外収益・・・ 為替差損計上(△5,800万円、前年度は1億1,100万円の為替差益)

*2:特別利益··· CNF補助金受領(2億5,500万円)、

特別損失・・・ CNF設備の圧縮損(1億6,800万円)等、

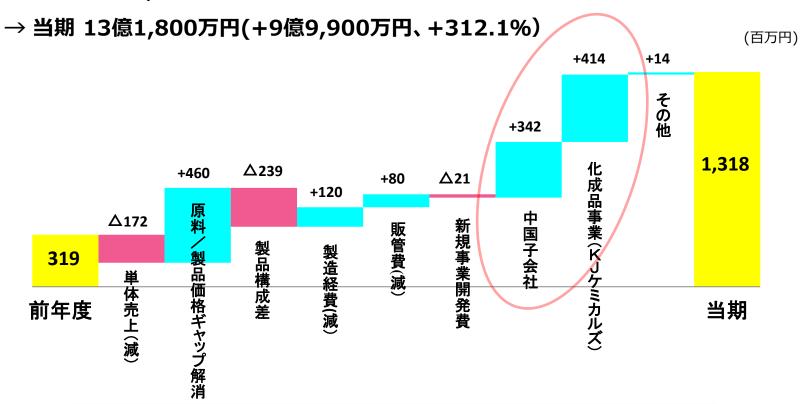
前年度は中国事業に関わる減損損失計上(7億600万円)

Ⅱ. 2015年度連結決算 営業利益増減分析



(2)営業利益増減分析(対前年度)

前年度 3億1,900万円



- ・中国子会社の損益改善(+3億4,200万円)
- ・化成品事業の損益改善(+4億1,400万円)
- ・樹脂事業を中心とした単体売上数量減少(△1億7,200万円)
- ・前年度の原料/製品価格ギャップ解消(+4億6,000万円)

Ⅱ. 2015年度連結決算 連結貸借対照表



(百万円) 科 目	2014年度末	2015年度末	前年 同期比
現金・預金	791	818	+27
受取手形·売掛金	11,176	10,858	-318
たな卸資産	3,917	3,582	-335
短期貸付金	1,813	2,711	+898
その他の流動資産	566	473	-93
流動資産 合計	18,263	18,442	+179
有形固定資産	9,423	9,064	-359
無形固定資産	69	108	+39
投資その他の資産	1,280	1,317	+37
固定資産 合計	10,772	10,489	-283
資産合計	29,035	28,931	-104

科目	2014年度末	2015年度末	前年 同期比
支払手形·買掛金	4,406	3,709	-697
短期借入金	1,100	1,100	±0
その他流動負債	2,300	2,329	-1
流動負債 合計	7,806	7,138	-668
退職給付引当金	-	-	-
退職給付に係る負債	796	1,018	+222
その他の固定負債	515	381	-134
固定負債合計	1,311	1,399	+88
負債合計	9,117	8,537	-580
株主資本:			
資本金	2,000	2,000	±0
資本剰余金	1,566	1,566	±0
利益剰余金	16,285	16,827	+542
自己株式	-104	-105	-1
その他包括利益累計額:			
為替換算調整勘定	144	129	-15
その他	27	-23	-50
純資産合計	19,918	20,394	+476
負債及び純資産合計	29,035	28,931	-104

自己資本比率	67.9%	69.7%
--------	-------	-------

- ・引き続き実質無借金経営を継続 (利益計上に伴い短期貸付金残高が約9億円増加)
- ・ 当期末の自己資本比率は、69.7%

Ⅱ. 2015年度連結決算 PL/CF



損益計算書

(百万円) 科 目	2014年度	2015年度	前年度比
売上高	23,970	24,569	+599
売上原価	19,343	18,804	-539
売上総利益	4,626	5,765	+1,139
販売管理費	4,306	4,446	+140
営業利益	319	1,318	+999
金融収支	23	19	+5
為替差益	111	-59	-170
その他	68	57	-75
経常利益	521	1,335	+814
特別利益	464	363	-101
特別損失	762	177	-585
税金等調整前	222	1 521	±1 209
当期純利益	223	1,521	+1,298
法人税等	241	449	+176
当期純利益	-18	1,072	+1090

・ 当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、 19億円の資金の獲得

キャッシュ・フロー

(百万円)		2014年度	2015年度
	税金等調整前当期純利益	223	1,521
	減価償却費	1,209	998
営業活動に	法人税等の支払額	-173	-228
よるCF	運転資本の増減額	-727	-227
	その他	242	-108
	計	774	1,956
	有形固定資産の取得による支出	-850	-790
	無形固定資産の取得による支出	-39	-71
15.55	有形・無形固定資産の売却による収入	2	9
投資活動に よるCF	投資有価証券の取得による支出	-1,374	-5
6 901	短期貸付金の純増減額	2,058	-898
	その他	2	215
	計	-201	-1,540
	配当金の支払額	-273	-362
財務活動に よるCF	その他	-4	-6
6.901	計	-278	-368
現金および現金等価物に関わる換算差額		46	-20
現金および現金等価物の増減額		342	27
現金および現金等価物の期首残高		448	790
現金および現金	等価物の期末残高	790	817

Ⅲ. 2016年度連結業績見通し 概要

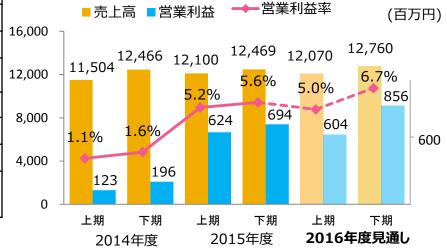


(1)決算の概況

(百万円)	2015年度	2016年度	前年	度比
	実績	見通し (注)	増減	増減率
売上高	24,569	24,830	+261	+1.1%
営業利益	1,318	1,460	+142	+10.7%
営業利益率	5.4%	5.9%	-	-
経常利益	1,335	1,520	+185	+13.8%
経常利益率	5.4%	6.1%	-	ı
当期純利益	1,072	1,130	+58	+5.3%
減価償却費	998	1,005	+7	0.1%
設備投資	852	1,625	+773	+90.7%
研究開発費 (対売上高比率)	1,639 (6.7%)	1,780 (7.2%)	+141	+8.6%

注: 為替1ドル=123円、ナフサ価格43,000円を前提としております。

- ・売上高は、紙薬品を中心に国内外での拡販策を 実施するも、国内樹脂が厳しく、横ばい。
- ・営業利益は、製品販売構成の高収益化、中国事業の 拡販等により、増益。



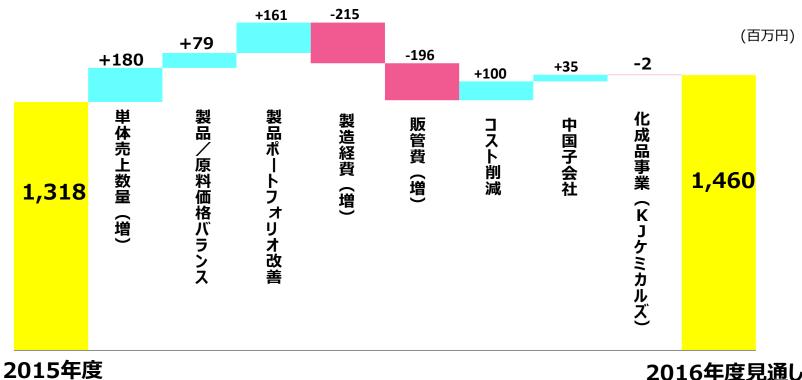
Ⅲ. 2016年度連結業績見通し 営業利益増減分析



(2)営業利益増減内訳

2015年度実績 → 2016年度見通し

13億1,800万円 → 14億6,000万円 (+1億4,200万円、+10.8%)



2016年度見通し

国内単体の販売数量増加(+1億8,000万円)、製品ポートフォリオ改善(+1億6,100万円)、 コスト削減(+1億円)による増益分で、製造経費(△2億1,500万円)や 販管費(△1億9,600万円)の増加をカバーする。

IV. 事業別動向 (製紙用薬品事業)



(百万円)	2014年度	2015年度	増減	増減率
売上高	15,460	15,821	+361	+2.3%
営業利益(注)	774	1,293	+519	+67.1%

2016年度 見通し	増減	増減率
16,180	+359	+2.3%
1,536	+243	+18.8%

注:中国子会社については、△118→226百万円(黒字化)となっております。

2015年度ハイライト

・ 売上高 : 国内は板紙向けが堅調に推移。

海外は積極的な拡販施策により増収。

・ 営業利益 : 国内は増収とコスト削減効果により増益。

海外は増販に加え、販売・製造・物流など多方面にわたる

コスト削減努力の効果により、黒字化

2016年度見通し

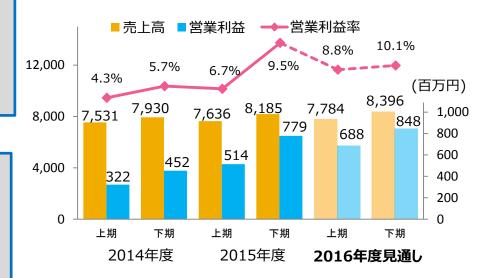
・ 売上高 : 国内は差別化製品の投入により拡販。

海外は増販基調を継続。

・営業利益 : 国内は差別化商品の投入による拡販とコストダウンの実施に

より増益。

海外は、拡販および着手済みのコスト削減策の浸透により増益。



IV. 事業別動向 (樹脂事業)



(百万円)	2014年度	2015年度	増減	増減率
売上高	5,950	5,363	-587	-9.9%
営業利益	62	149	+87	+138.0%

2016年度 見通し	増減	増減率
5,179	-184	-3.4%
82	-67	-45.0%

2015年度ハイライト

・ 売上高 : 国内はオフセットインキ用樹脂を中心に需要が 大幅に減少し、約10%の減収となった。

・ 営業利益 : コストダウン・合理化策の実施により利益は確保。

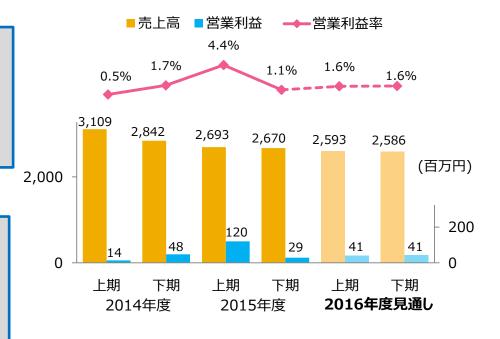
2016年度見通し

・ 売上高 : 国内の販売減を中国での水性インキ用樹脂の 増販でする

増販で補う。

・ 営業利益 : 製品ポートフォリオの抜本的な見直しに加え、

コスト削減を推し進めるも、売上減が響き減益。



IV. 事業別動向 (化成品事業)



(百万円)	2014年度 (4-12月)	2015年度	増減	増減率
売上高	2,558	3,384	+826	+32.2%
営業利益	-92	321	+413	-

2016年度 見通し	増減	増減率
3,472	+88	+2.6%
319	-2	-0.6%

2015年度ハイライト

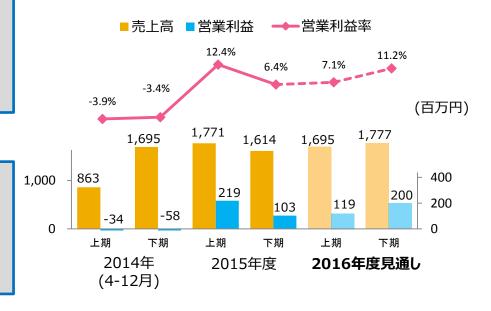
・売上高: 連結業績への寄与9カ月(2014年) → 12カ月(2015年)

・ 営業利益 : 償却負担の大幅減により黒字化

2016年度見通し

・売上高: 3D印刷向け等新規分野への販売に注力。

・営業利益:好調であった2015年度並みの利益を確保。



V.前中期経営計画「CS VISION- I 」の振り返り



「CS VISION- I 」(2012年度~2015年度)の基本方針は事業領域の拡大

◆地域:・当社海外事業の本格的な収益化が2015年にズレ込み

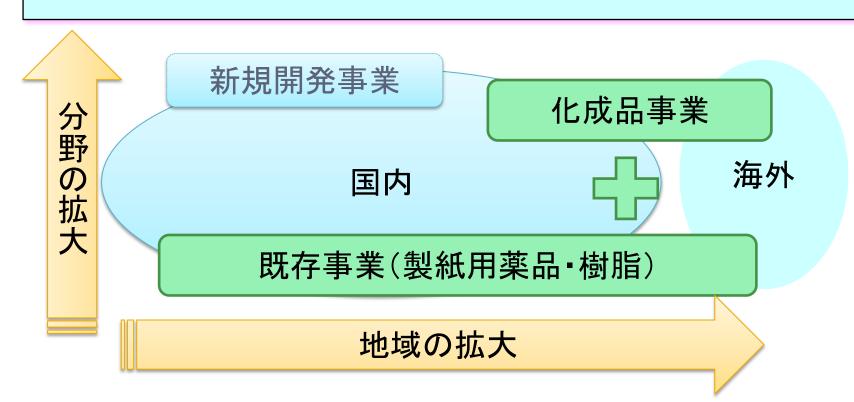
・東南アジア等、中国華東地区以外の市場開拓は道半ば

◆分野:・興人フィルム&ケミカルズ株式会社の化成品事業の買収(2014年4月)で

第三の事業軸を確立

・新規開発事業については、セルロースナノファイバー(CNF)のパイロットプラントの建設等、

事業化へ向けての経営資源投入を継続



V. 前中期経営計画「CS VISION- I 」の振り返り



- ◆ 売上高・営業利益は伸びたものの、計画値に大幅未達
- ◆ 計画最終年度は、販売増と幅広いコスト削減施策による中国事業の収益改善や、 化成品事業の収益寄与等から、連結収益は改善基調

	2011年度実績 (ベース年度)	2015年度実績	増減	計画値※
売上高 (百万円)	22,716	24,569	+1,853	28,780
営業利益 (百万円)	1,059	1,318	+259	1,800
営業利益率	4.7%	5.4%	+0.7pt	6.3%

売上高
 1,059
 1,318
 24,569
 22,716
 2011年度
 2015年度
 1,800
 単位:百万円
 28,780
 28,780

実績

実績

計画

VI. 新中期経営計画「CS VISION-II」 業績目標



指標	項目	2015年度実績 (ベース年度)	2018年度 (本中計ゴール)	増減
連結売上高		24,569	27,200	+2,631
経営目標	連結営業利益	1,318	2,200	+882
	連結営業利益率	5.4%	8%以上	+2.6
全土比無	海外事業売上高比率	14.9%	21.2%	+6.3
参考指標	ROE	5.4%	7.7%	+2.3

数値目標に組み入れてはおりませんが、M&Aを実行して事業規模の拡大を図るため、 適切な財務戦略に基づく資金枠を設定して、積極的に案件を探索いたします。

VI. 新中期経営計画「CS VISION-II」 基本方針



◆ 基本方針 :「CS VISION- I」の理念を継承

「環境変化に左右されない強固な国内事業基盤を構築して成長の礎とし、 その基盤の上に、新規事業立上げによる事業の多角化と、アジアを 中心としたグローバルな事業展開を通じて、持続的な成長を遂げる 企業グループを目指す。」

「CS」: 人々の豊かな暮らしと、地球環境に貢献する「Chemical Solution」をお客様に提供し、「Customer Satisfaction」を積み重ねて、お客様と社会への貢献を通じて企業基盤を強化することで、「Corporate Sustainability」を高めて行く、という思い。



Ⅵ.新中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」 戦略



(1)国内事業基盤の強化

成熟市場の中で

- ・差別化されたソリューションの提供
- ・製品の高性能化、新たな薬品の開発
 - → 顧客との関係強化、市場シェア拡大
 - ・製品ポートフォリオの見直し
 - ①競争力のある水性インキ用樹脂 販売注力
 - ②不採算品→高採算品への入替
 - ・生産体制の再構築 工場設備合理化、 工場ごとの生産品目見直し

③化成品事業

- ・「○○くっつく○○」「○○混ざる○○」のコンセプトのもと 機能性創造モノマー・オリゴマーの提供による、確固たる 事業基盤の構築
- ・3Dプリンター分野に向けた新素材開発と販売

Ⅵ.新中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」 戦略



(2)事業領域の拡大

①海外事業展開の加速

- ・製紙用薬品事業
 - → 製品ポートフォリオを拡充し、 海外生産工場を最大限活用
- ・樹脂事業
 - → 中国での印刷インキ水性化ニーズへの対応

②新規開発事業

- ・セルロースナノファイバー(CNF)
- ・銀ナノワイヤ
 - → 事業化へ向けた取組の継続
- ・さらなる新規事業探索・事業化

(3)外部資源の活用

- ・上述の戦略を遂行するために
 - → 当社及び他社の事業インフラの活用 (業務・資本提携の検討)
 - → M&Aの積極的な活用

Ⅵ.新中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」 戦略



(4)持続的な成長を支えるインフラの強化

①生産体制の強化

- ・製品ポートフォリオ見直しに即した 最適な生産体制の構築
- ・継続的な安全・安定操業と増産体制

②人材の育成・多様化

- ・海外展開加速を支える人材
- ・女性、外国人が活躍できる場の提供 = ダイバーシティの推進

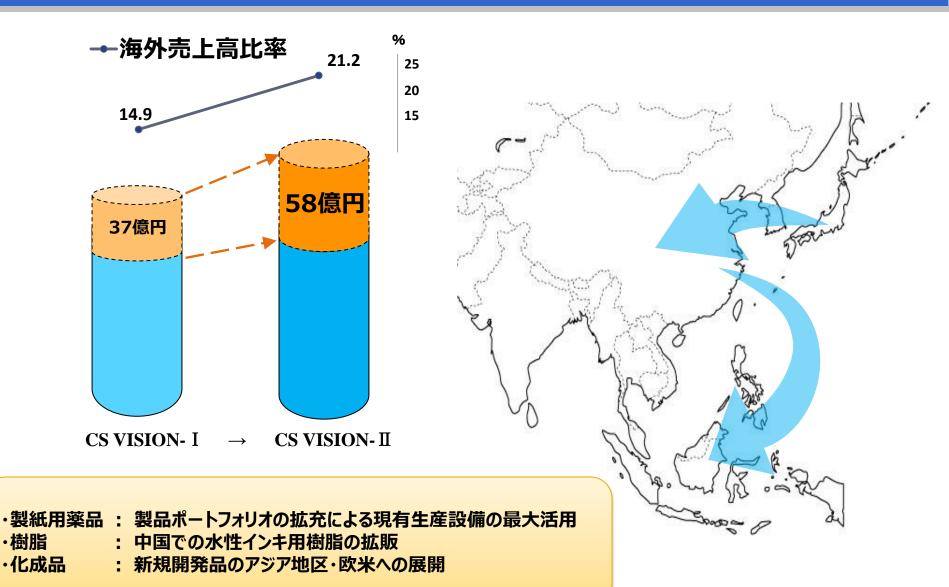
③チャレンジ精神溢れる 企業風土の醸成

- ・事業環境の変化をチャンスと捉え
 - → 現状を主体的に変革するチャレンジ精神と、
 - → 新しいことに果敢に挑戦する姿勢があふれる 企業風土作り

VI. 新中期経営計画「CS VISION-II」 海外事業展開の加速

·樹脂





Ⅵ.新中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」

新規開発事業(CNF)



セルロースナノファイバー(CNF)

・植物由来の軽量、高強度次世代バイオマス素材

CS VISION-I

- ・CNFサンプル製造(竜ケ崎工場内)(経産省イノベーション拠点立地推進事業)
- ・サンプル配布による用途開発・・生産技術開発/性能改良





CS VISION-II

事業化へ向けた大きな展開を目指す





産官学連携プログラム

・ナノセルロースフォーラム

・地域フォーラム・



Ⅵ.新中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」 新規

新規開発事業(銀ナノ)



銀ナノワイヤ

特長

- ・nmサイズの直径、µmサイズの長軸長
- ・高い導電性 ~ 電極および電気配線、大型ディスプレイ
- ・透明性 ~ タッチパネル等の透明導電性電極
- ・柔軟性 ~ フレキシブルディスプレイ ウェアラブルデバイス

銀ナノワイヤ生産設備

- ・千葉工場内に銀ナノワイヤ製造プラントを設置
- ・昨年よりサンプル出荷を開始 ~ 高品質な製品を安定供給









Ⅵ.新中期経営計画「CS VISION-Ⅱ」 事業別目標



(単位:百万円)

	2015年度実績		2018年度計画		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
製紙用薬品事業 営業利益率	15,821	1,293 8.2%	17,334	1,700 9.8%	+1,513	+407
樹脂事業*1 営業利益率	5,363	149 2.8%	5,866	478 8.1%	+503	+329
化成品事業 営業利益率	3,384	321 9.5%	4,000	448 11.2%	+616	+127
共通費·連結調整*2		▲ 445		▲ 426		+19
合計	24,569	1,318	27,200	2,200	+2,631	+882

*1:樹脂事業には、新規開発事業分を含みます。

*2:共通費の主なものは、上記各事業に帰属しない研究開発費であります。